

概要版

さぬき市第4期地域福祉計画

さぬき市第4期地域福祉活動計画



計画背景及び趣旨

地域における様々な福祉課題に対応するため、さぬき市では、平成16年3月に「さぬき市第1期地域福祉計画」、さぬき市社会福祉協議会では、平成17年3月に「さぬき市第1期地域福祉活動計画」をそれぞれ策定し、定期的に見直し、再編を進めてきました。

第3期計画までは、地域福祉推進のための基盤や体制をつくる「地域福祉計画」と、それを実行するための住民の活動・行動の在り方を定める「地域福祉活動計画」を別々の計画として策定してきましたが、両計画の見直し時期に合わせて、本計画から「さぬき市第4期地域福祉計画・さぬき市第4期地域福祉活動計画」として一体的に策定することとしました。

一体的に策定することにより、行政や住民、地域福祉活動団体、ボランティア、事業所など地域に関わるものの役割や協働が明確化され、実効性のある計画づくりが可能となります。

さぬき市の目指す方向

地域福祉は、誰もが住み慣れた地域の中で、自分らしく健康で自立した生活を送ることができる社会の実現を目指すものです。そのために、本市として子どもから高齢者まで、障害の有無にかかわらず、自分らしさを認め合い、みんなが力と知恵を出し合い、支え合えるまちづくりを進め、住民が主体となって問題解決の実践者として参加していくことが重要であると考えます。

優しさと思いやりが織りなす「いきいき福祉のまち」

手と手を取り合い、みんなが笑顔で暮らせる地域社会をつくりましょう！

基本目標1：住民主体の支え合いによるまちづくり

(1) 地域福祉活動への参加を促す仕組みづくり

- ①自治会の組織強化と活動の充実
- ②地域で活動する関係団体との連携強化
- ③地域福祉活動のための情報発信

(2) 地域福祉を支える担い手の育成

- ①地域活動の人材・リーダーの育成
- ②福祉教育の充実

(3) 地域の支え合い活動の活性化

- ①地域住民の交流の促進
- ②地域見守りネットワークの充実

(4) ボランティア活動の推進

- ①ボランティアセンターの充実
- ②ボランティア活動への参加促進

(5) 防災・防犯対策の推進

- ①地域における防犯や防災対策の強化
- ②避難行動要支援者の支援体制の充実

基本目標2：安心して暮らせるサービス利用の仕組みづくり

(1) 相談体制・情報提供の充実

- ①身近な相談窓口の充実
- ②情報提供の充実

(2) 誰もが安心して利用できる福祉サービスの提供

- ①多様なニーズに対応した福祉サービスの充実
- ②サービス利用者の権利擁護

基本目標3：いきいき福祉の基盤づくり

(1) 地域福祉活動を支える拠点の充実

- ①社会福祉協議会との連携強化
- ②社会福祉協議会組織の基盤強化
- ③活動拠点の整備及び充実

地域ができること

- ・単独では実施が難しいイベント等を複数団体で協働し、実施に向けた検討を行う。
- ・各団体や組織で集まる機会を増やし、定期的に情報交換の場を設ける。

社会福祉協議会ができること

- 老人クラブ等関係団体との連携強化
会員減少が進む中、事業のすり合わせとスリム化及び財政面での事業の見直しを図る。

地域ができること

- ・民生委員・児童委員をはじめ、地域で気になる人を「見守る」体制をつくる。

社会福祉協議会ができること

- 地域福祉見守り隊結成の推進
自治会ごとに災害時等に特化した見守り活動の必要性を座談会等で周知する機会を確保する。

地域ができること

- ・通学路等の点検を行い、みんなが安心して気持ちよく過ごせるまちであるよう心掛ける。

社会福祉協議会ができること

- 災害ボランティアセンター運営のための体制づくりの推進
災害時のボランティアセンターの設置・運営者研修を行い、ボランティアセンター体制の構築を図る。
また、さぬき市災害ボランティア活動連絡会の中で、市や各種団体との連携を図る。

地域ができること

- ・福祉サービス以外の部分で、ごみ捨てや買い物など、地域で困っている人をサポートできる環境をつくる。

社会福祉協議会ができること

- ファミリー・サポート・センター事業の推進
「まかせて会員」を増やし、会員が安心して活動できるようフォローアップしていく。

地域ができること

- ・行政や社会福祉協議会と連携し、拠点の確保・整備について地域の意見を反映させる。

社会福祉協議会ができること

- 相談、情報交換、交流ができる地域福祉の拠点づくり
地域ニーズを把握するために、更に関係団体・機関との連携を図るとともに、地域ネットワーク会議等で居場所づくりの検討を行う。

さぬき市社会福祉協議会では、地域で抱えている様々な福祉問題を地域全体の問題として捉え、みんな
で考え、話し合い、協力して解決を図ることを目的としています。住民参加による小地域でのネットワークづくり
などの支援や、社会福祉に関わる公私の関係者・団体・機関等との連携を進め、具体的な福祉サービスを企画し実
施しています。そして、その活動を通して、心ふれあう「福祉のまちづくり」を目指しています。

第4期地区地域福祉活動計画



津田地区

【基本理念】 **みんなで創る、住みよいまち！**

～青い海と緑とあたたかい絆～みんなでつくろう地域力～



地域の課題

課題に対する対応策

人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代の人材不足 役員の固定化 地域の逸材の利活用 	<ul style="list-style-type: none"> 若い人が参加できる機会や交流会を実施し、活動の理解を促す 活動しやすい場づくりの提供や声かけ
ふれあいの場づくり	<ul style="list-style-type: none"> 地域内での若い世代との連携不足 地域の子どもの交流の場の減少 働いている世代の地域活動への参加者の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 交流の場づくりと活動への理解 交流の場づくりを地域や自治会内で検討、イベントを実施する 若い方が参加できる機会や交流会を実施し、活動の理解を促す
安心安全なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の増加 通院や買い物に困難な方の増加 災害への意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 地域内で空き家の利活用を検討 地域や自治会内でサービスを創出する 研修会や訓練の実施を通して家庭・地域防災を考える機会を持つ

自分たちや地域でできること

日常の関わりから人材の掘り起こしを図る

- 若い人が参加しやすい環境や交流の場をつくる
- 地域で活動する各種団体と情報の共有や連携を持てる情報交換の場をつくる
- 見守り活動で、高齢者等のニーズの把握に努める
- ひとり親世帯への協力・支援について考える機会を持つ

地域の特色を活かした交流の場づくり

- 定期的集まる機会を持ち、地域の困り事を解決できる場をつくる
- 地域見守り隊の活動を通して、高齢者や隣近所等に声掛けをする
- 自治会単位で、ふれあいサロン、子ども会等の交流行事を考え、実施する
- ふれあいまつりを継続的に実施し、世代間交流の場づくりを行う

地域力と防災力の強化

- 自治会単位で防災マップの作成と避難経路の確認をする
- 地域で防災訓練を企画・実施する
- 防災・減災のための研修会を実施し、意識の向上を図る
- 利用可能な空き家のリスト作成する



大川地区

【基本理念】 **みんなが支え合う、ふれあいの町、大川**

～地域ではどのような福祉ニーズがあるのか常に目を向けていこう～



地域の課題

課題に対する対応策

ふれあい・ ささえあい

- ・高齢者の買い物支援が不十分
- ・ふれあいサロン利用者の減少
- ・昔の伝統を継承する機会の減少
- ・地域での生きがい対策不足

- ・高齢者等への送迎サービスの仕組みづくり
- ・既存ふれあいサロンを若年層も参加できる交流の場へ
- ・小学校、幼稚園と連携した伝統継承の交流の場づくり
- ・趣味の会、少人数の集まりに対しても支援できる仕組みづくり

地域ぐるみ

- ・自治会内の世帯の減少
- ・若者の定住減少
- ・近所付き合いの強化
- ・地域の人口減少対策の必要性

- ・地域の実情を知るための調査を行う
- ・困りごとを相談でき、つないでもらえる場所をつくる（井戸端会議のすすめ）
- ・地域見守り隊及び子どもの見守り活動の充実

安心安全な 環境づくり

- ・自然災害に対する意識の向上
- ・空き家の増加

- ・学校と地域住民が連携した訓練や研修会の実施
- ・防災情報の周知徹底や防災を切り口とした事業の実施
- ・空き家の有効活用方を地域で考える

自分たちや地域でできること

だれもが住みやすい地域づくり

- ・おせっかいな人になる
- ・地域でできる外出（買い物）支援を検討する*
- ・3世代交流事業の実施する
- ・大川地区合同ふれあいサロンを開催する

地域福祉の土壌づくり

- ・地域の困っている事や手伝ってほしい事を調査する*
- ・地域の困り事を相談・共有できる場づくりを行う*
- ・地域見守り隊を推進する

住民のつながりづくり

- ・子ども（学校）を中心とした地域を巻き込んだ防災訓練を実施する
- ・地域で活動する各種団体と情報の共有や連携を持てる情報交換の場をつくる
- ・空き家を地域で調査し、利活用を検討する場をつくる
- ・防災マップづくりを推進するとともに、環境パトロールを行い、地域の危険箇所を知る



※さぬき市生活支援体制整備事業の中でも推進していきます。



志度地区

【基本理念】 **ふる里の輪・人・絆**
ぬくもりとやさしさを支え合う町

～人の和・思いやりで未来を開く、わがふる里～



地域の課題

課題に対する対応策

地域福祉活動の推進

- ・買い物難民や通院の移送（生活支援）
- ・後継者不足・地域リーダーの育成困難
- ・自治会と専門職との情報交換の場づくり
- ・福祉委員活動の衰退化

- ・自治会内で福祉サービスの情報を共有する
- ・役員の負担軽減とスキルアップに向け、協力体制を再考する
- ・自治会行事に情報交換の時間を取る
- ・福祉委員の役割を具体的に知る

ボランティア活動の推進

- ・ボランティア活動の推進と情報共有
- ・若い世代のボランティア活動に対する理解不足と活動停滞

- ・どこにどんなボランティアが必要かを明確にする
- ・子ども世代からボランティア活動への参加の機会をつくる

交流の場・人・支え合いづくりの推進

- ・地域内に気軽に立ち寄り交流できる場所が必要（居場所不足）
- ・魅力ある自治会活動の参画
- ・支え合いの気持ちを育てる場の確保

- ・自治会内に居場所が必要であることをみんなで認識する
- ・子どもたちの参加を促す活動を自治会活動に取り入れる
- ・自治会内で顔を合わせる機会を増やす

情報発信・収集

- ・災害に対応できる仕組みづくり
- ・要援護者防災マップ作り

- ・地域に関心を持てるようなきっかけを考える
- ・要援護者の情報を有効に活用できるように、自治会で取り組む

自分たちや地域でできること

地域の困り事に対して自分たちで解決の方法を考える意識を持つ

- ・地域にある利用可能なサービスの情報を収集し情報を自治会等で話題に挙げる
- ・地域単位等で巡回するコミュニティバスや乗合バス・乗合タクシーなどの仕組みづくりを検討する
- ・自治会長や福祉委員の任期や、複数の協力体制を検討し、人材を育成する

見守り隊とボランティア活動の推進

- ・有償ボランティアの必要性を検討する、ボランティア活動の内容を明確にする
- ・世代を超えて、子どもやその親等の若い世代とコミュニケーションを取り、声掛けができる下地を作っておく

自治会を中心に、子どもから高齢者までが集える居場所をつくる

- ・子どもの参加が増えるような自治会活動を検討する
- ・ふれあいサロンに限らず、少人数での集まりにも、自治会館を利用できるよう検討する

自治会を中心とした隣近所での助け合いの仕組みづくり

- ・災害の場合の避難場所や行動を検討し、隣近所での助け合いが基本であることを常に話し合っておく
- ・家庭内での危険箇所の確認をする、隣近所の人とコミュニケーションを取っておく



寒川地区

【基本理念】 温もりを感じるまち

～人も地域も元気な町に～



地域の課題

課題に対する対応策

地域の絆

- ・行事の減少と交流の場の減少
- ・見守り隊の立ち上げが困難
- ・集会場の活用減少
- ・プランターによる花いっぱい運動の見直し

- ・隣近所の付き合いを密にして、いざというときに役に立てるための交流の場を持つよう努力する
- ・地域を支えてくれる担い手の育成（退職者世代）として声掛けをしていく
- ・花いっぱい運動の積極的な推進と気運の高揚

要介護者対策

- ・安心安全カードの定期更新が必要
- ・ひとり暮らし高齢者・老夫婦世帯の増加

- ・安心安全カードの重要性を再確認して家族の協力を得ながら定期更新をする
- ・見守り隊の結成により情報を得て具体的な支援策の検討

子どもたち

- ・若い世代のボランティア不足
- ・安全パトロール活動減少
- ・小中学生の朝の気持ち良い挨拶の在り方

- ・ボランティア希望者の発掘と若者の参加できる場を提案していく
- ・散歩・ウォーキングの時間を利用した見守り活動を行う
- ・世代を超えて大人の方から積極的に挨拶、声掛けをする

自分たちや地域でできること

地域リーダーの育成からコミュニティの強化を図る

- ・近隣愛を育てるために一人でも多く声掛けをし、一緒に行事等に参加する
- ・ひとり暮らしの高齢者に積極的に声を掛け、状況を知る
- ・子供会・老人会・青壮年会がイベントを協賛し、集まりの機会を増やす
- ・集会場をいつでも利用できるようにし、勉強会等に使い、絆を深める
- ・花いっぱい運動をふれあいの場として展開していく

共助の体制づくりの推進

- ・隣近所の見守り
- ・安心安全カードを再検討し、積極的に取り組む

元気で活力に満ちた地域づくり

- ・登下校の見守りをする
- ・自ら挨拶をする
- ・地域の集会場を使って昔の遊びを一緒に行う
- ・子どもたちと一緒に地域自治会でできる作業を探し交流を深める





長尾地区

【基本理念】 お接待のこころを大切に

文化と福祉のまち ～声をかけあい人と人が繋がる笑顔のまち～



地域の課題

課題に対する対応策

高齢者・障がい者	<ul style="list-style-type: none"> 老人会の会員の減少と担い手不足 認知症高齢者や障害者への理解が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉委員や地域リーダーの育成 認知症高齢者や障害者に対する正しい理解
子ども・若者	<ul style="list-style-type: none"> 世代間交流の機会の減少 子育て世代の居場所が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 地域での見守り活動の推進 地域のたまり場づくりの推進
自治会	<ul style="list-style-type: none"> 自治会内での情報共有と連携不足 魅力ある自治会づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 各年齢層が参加できる行事づくり 地域の歴史伝承の推進 自分の地域の良いところ再発見
防災	<ul style="list-style-type: none"> 防災意識の高揚 防災マップの作成と更新 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会や関係団体と連携した防災意識の向上 子どもや若者を巻き込んだ防災訓練の実施

自分たちや地域でできること

福祉の担い手づくりと社会参加の推進

- 地域福祉推進委員会（自治会長、福祉委員、民生委員・児童委員等）、福祉委員研修会（地区ごと）の実施と福祉関連研修会へ積極的に参加する
- 認知症高齢者、障害者等への理解啓発を推進する

地域支え合い活動の展開

- 一日一回声掛けを行い、見守る*
- 地域の居場所づくりを推進する*
- 子どもや若者を巻き込んだふれあいサロンを推進する

魅力ある地域づくり

- 自分の周りの地域を知る
- 地域でみんなが参加できるイベントを企画し、実施する
- 子どもや若者への地域歴史の伝承を推進する

防災意識の向上と共助の体制づくり

- 学校等と連携し子どもや若者を巻き込んだ防災訓練を実施する
- 防災訓練へ積極的に参加し、避難経路を確認する
- 防災マップ作りによる地域の危険箇所をチェックする

※さぬき市生活支援体制整備事業の中でも推進していきます。

さぬき市第4期地域福祉計画 さぬき市第4期地域福祉活動計画 【概要版】

発行年月：令和2年1月

発行：社会福祉法人 さぬき市社会福祉協議会

〒769-2395 香川県さぬき市寒川町石田東甲 935 番地 1

Tel：0879-26-9940 Fax：0879-26-9942

ホームページ：https://sanuki-syakyo.jp/